

稚内市地域公共交通網形成計画に係る達成状況の評価について

稚内市地域公共交通網形成計画における各事業の達成状況につきまして、次のとおり中間評価を行います。

目標 1 まちづくりと公共交通の一体性の確保

事業 1 交流人口拡大のための 2 次交通の充実

観光客が地域内での行動範囲を広げることができるよう、バスやタクシー事業者等の協力のもと、宗谷岬への移動手段である天北宗谷岬線バスや宗谷岬空港線バスの運行、公共交通が乗り放題になるチケット、交通未整備地区への誘客など、多様な移動手段の充実や利用促進について検討を進めます。

指 標	目標設定時 2017 年度	目標値 2023 年度
天北宗谷岬線バスでの宗谷岬への移動に係る 1 便当たりの利用者	2.7 人	3.3 人以上

【現況値】	2018 年度 (H30)	2019 年度 (R1)	2020 年度 (R2)	2021 年度 (R3)
天北宗谷岬線バスでの宗谷岬への移動に係る 1 便当たりの利用者	2.7 人	5.19 人	3.2 人	1.9 人
宗谷岬への移動に係る年間利用者 (往復乗車券売上数)	13,806 人	15,159 人	9,240 人	5,956 人

事業 2 高齢者など移動困難者にやさしい交通サービスの提供

ユニバーサルデザイン車両の導入促進や交通関係施設のバリアフリー化、高齢者バス乗車証や障がい者等の施設通所に対する交通費の助成など、高齢者など移動困難者が公共交通を安全で安心して利用できる環境づくりを進めます。

指 標	目標設定時 2017 年度	目標値 2023 年度
高齢者バス乗車証の 1 日当たりの利用者	635 人	674 人以上

【現況値】	2018 年度 (H30)	2019 年度 (R1)	2020 年度 (R2)	2021 年度 (R3)
高齢者バス乗車証の 1 日当たりの利用者	-	-	555 人	-
乗車証の年間利用者	-	-	203,326 人	-

事業3 安全で快適な移動を実現する基盤整備の推進

コンパクトなまちづくりを推進するため、公共交通の充実にあわせて、市内を安全で快適に移動できるよう、緑・富岡環状通など幹線道路線や補助路線を整備し、利便性の高い交通ネットワークの充実に図ります。

指 標	目標設定時 2017 年度	目標値 2023 年度
市道緑・富岡環状通の整備の進捗率	28.4%	93.6%以上

【現況値】	2018 年度 (H30)	2019 年度 (R1)	2020 年度 (R2)	2021 年度 (R3)
市道緑・富岡環状通の整備の進捗率	37.4%	38.1%	53.0%	62.5%

目標2 多様な交通サービスの効果的な導入

事業1 乗合タクシーの利便性向上

天北地区及び恵北・増幌地区では、デマンド型の乗合タクシーが地域の主要な移動手段となっています。地域に密着したコミュニティ交通として、路線の拡大や乗降場所の追加、地域内輸送など、利便性の向上について検討します。

指 標	目標設定時 2017 年度	目標値 2023 年度
乗合タクシーの1日当たりの利用者の対象地区人口に対する割合	1.96%	2.15%以上

【現況値】	2018 年度 (H30)	2019 年度 (R1)	2020 年度 (R2)	2021 年度 (R3)
乗合タクシーの1日当たりの利用者の対象地区人口に対する割合	1.57%	1.52%	2.78%	3.25%
乗合タクシーの年間利用者	4,310 人	4,226 人	7,545 人	8,491 人

事業2 スクールバスの円滑な住民利用の促進

抜海地区や更喜苦内地区を運行しているスクールバスの住民利用について、地域住民の貴重な移動手段として、スクールバスの児童・生徒の利用状況や地域のニーズを勘案しながら、多様な交通手段の一つとして、円滑に実施できるよう努めます。

指 標	目標設定時 2017 年度	目標値 2023 年度		
住民のスクールバス年間利用者	319 人	337 人以上		
【現況値】	2018 年度 (H30)	2019 年度 (R1)	2020 年度 (R2)	2021 年度 (R3)
住民のスクールバス 年間利用者	667	666 人	586 人	419 人

目標3 持続可能な交通ネットワークの形成

事業1 生活交通バス路線の見直し

郊外バス路線の声問線、坂の下線、富士見線、曲淵線は、地域における重要な生活路線の役割を担っています。地域特性や移動ニーズを考慮し、効率的で利便性の高い路線への見直しを進めます。天北宗谷岬線は、近隣市町村をつなぐ幹線ネットワークとして、便数や運行時間など、沿線地域住民はもとより、宗谷岬を訪れる観光客へ配慮しながら、路線の効率的な見直しを進めます。

指 標	目標設定時 2017 年度	目標値 2023 年度		
郊外路線バス(曲淵を除く。)の1便当たりの利用者	10.0 人	10.8 人以上		
【現況値】	2018 年度 (H30)	2019 年度 (R1)	2020 年度 (R2)	2021 年度 (R3)
郊外路線バス(曲淵を除く。) の1便当たりの利用者	9.4 人	8.7 人	7.1 人	7.6 人

事業2 JR宗谷線の維持・存続

JR宗谷線は、稚内市と各地を結ぶ圏域における交通ネットワークの基軸として、市民生活や地域経済に不可欠な路線です。沿線自治体及び関係団体等と連携を密にしながら、維持・存続に向けて、協議を進めるとともに、利用促進につながる取組みを実施します。

指 標	目標設定時 2017 年度	目標値 2023 年度		
稚内・南稚内駅間乗車人員 (特定調査日)	281 人	281 人以上		
【現況値】	2018 年度 (H30)	2019 年度 (R1)	2020 年度 (R2)	2021 年度 (R3)
稚内・南稚内駅間乗車人員 (特定調査日)	114 人	170 人	165 人	-

目標4 みんなで公共交通を守る意識の醸成

事業1 わかりやすい交通情報の提供				
地域住民や来訪者の公共交通への理解や利用促進につながるよう、各交通事業者が提供している時刻表の一元化やリアルタイムな運行情報の発信、乗換等に必要な情報など、わかりやすい情報提供に努めます。				
指 標		目標設定時 2017年度	目標値 2023年度	
市内線バスの1日当たりの利用者（人口に対する割合）		6.2%	6.3%以上	
【現況値】	2018年度（H30）	2019年度（R1）	2020年度（R2）	2021年度（R3）
市内線バスの1日当たりの利用者（人口に対する割合）	5.8%	5.7%	4.8%	4.9%

事業2 公共交通を守る意識の醸成				
人口減少や少子高齢化が進む中、公共交通の利用者の減少による交通ネットワークの縮小が懸念されます。公共交通への理解を深め、過度な自家用車の利用からの脱却など、出前講座や市広報などにより、公共交通の利用促進や、公共交通を守る意識の醸成を図ります。				
指 標		目標設定時 2017年度	目標値 2023年度	
乗り方教室・出前講座等の実施件数		未実施	5件以上	
【現況値】	2018年度（H30）	2019年度（R1）	2020年度（R2）	2021年度（R3）
乗り方教室・出前講座等の実施件数	0件	6件	0件	0件

《中間評価》

本計画の基本方針である『「ひと」と「ひと」、「まち」と「まち」をつなぐ持続可能な交通ネットワークの構築』に向けて、4つの目標を定め、目標値の達成に向けて各事業の継続実施及び状況調査、新たな取組み等の検討を進めているところであります。

そうした中、これまで生活にかかる交通手段の確保を重点に、乗合タクシーの再編や天北宗谷岬線バスの再編など交通需要に応じた交通サービスへの転換に務めてまいりました。

また、交通不便地域における交通ニーズを把握するために、乗合タクシーの実証運行を行うなど、将来を見据えた取組みに着手しております。

計画の評価としては、各事業の実施により、一定程度の成果は出ていると判断するものの、新型コロナウイルス感染症の影響など、公共交通を取り巻く状況は極めて深刻であり、指標の目標値に達成できていない項目が複数あることから、今後の地域公共交通を維持・確保していくための方向性の整理を行うとともに、今回の中間評価に基づき、新たな取組みの検討を進めます。